

益子町農業戦略

令和7年3月

益子町

目 次

目的 -----	1
基本理念 -----	2
講ずべき施策 -----	3
1. 地域における生産体制の確立 -----	3
2. 生産者の所得向上・コスト削減 -----	3
3. 農業における地域内経済循環 -----	4
4. 農業関係人口の創出・拡大 -----	5
資料編 -----	6

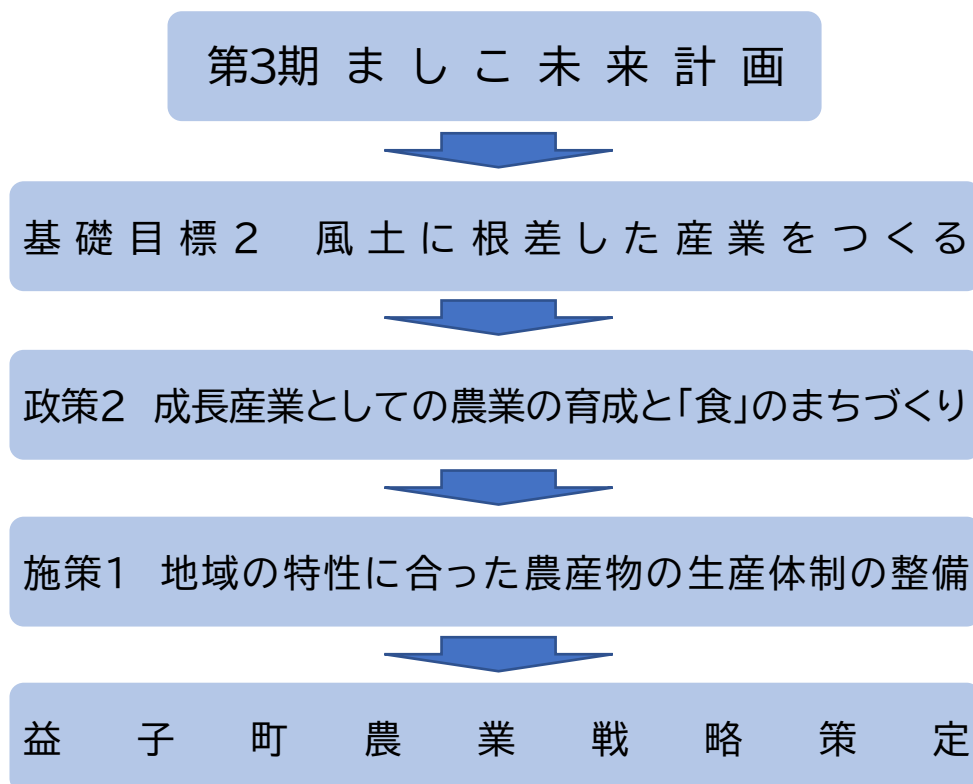
益子町農業戦略

<目的>

益子町は自然と環境に恵まれ多様な農業生産が営まれてきました。しかし、現状は、農業者数が年々減少しており、基幹的農業従事者数は平成22年の1,112人に対し、令和2年には777人になっております。また、基幹的農業従事者の平均年齢も平成22年は66.4歳に対し、令和2年は67.9歳となっており、高齢化が進んでおります。農業産出額は平成27年度の33.8億円から令和4年度には29.1億円に落ち込んでいます。

農業は食料供給という役割のみならず、雇用の創出や美しい景観の形成、災害の防止、地域コミュニティの維持など私たちの生活を支える基盤として多面的な役割を担っております。

このような状況を踏まえ、町では農業を地域社会全体で取り組む重要な産業と捉え、本町地域振興の根幹となる農業の戦略を策定し、10年先を見据えた農業の方向性を示します。



＜基本理念＞

この戦略では、文化遺産や自然景観なども含めた地域の様々な資源を活かして、農業経営、自然環境、地域社会の持続的発展を目指すとともに、大規模・小規模経営、法人・家族経営、自給的農業など様々な農業経営体が共存・共栄し地域活性化に資することを基本理念とします。

1. 地域における生産体制の確立

農業の担い手の確保・育成のため、農業組織間の協力体制の強化や法人化を促進します。また効率的な生産や遊休農地の解消のため、農地の集約化を推進します。

2. 生産者の所得向上・コスト削減

農産物及び加工品の高付加価値化を図るとともに所得の向上と農業生産のコスト削減に取り組みます。

3. 農業における地域内経済循環

地域経済の活性化のため、地産地消の推進などに取り組みます。

4. 農業関係人口の創出・拡大

アグリツーリズム事業などを進めるとともに、情報発信を拡充し本町農業に関連する人口の創出・拡大を図ります。

＜講ずべき施策＞

1. 地域における生産体制の確立

(1) 担い手の確保・育成

地域農業を支える組織経営体の拡充を図るとともに組織経営体への就農施策を大規模農業者・小規模農業者、半農半X、非農家などの協力を得ながら人材の発掘・育成を行い、関係機関と連携して推進します。

土地利用型農業について、組織間の協力や法人化など農業経営の大規模化を促進します。

(2) 小さい農業の魅力度向上

小規模農家や半農半Xなどの、いわゆる小規模農業が成り立つ仕組みづくりを推進するとともに、地域ブランド化により付加価値を高めることで、小さい農業の担い手の育成を図ります。

(3) 地域計画等の推進

生産性の向上のため耕作箇所が点在している農地の集約や、農業用施設と農村環境の保全など、10年先の農村の姿を描いた地域計画の策定を進めます。また遊休農地の解消や防止に向けた取り組みとして、農業者が地域計画に基づき実施する農地の集約化や農作物生産ブロックローテーションを推進します。

(4) 新品種・新技術の導入

地球温暖化の現状を鑑み新品種の導入を促進し、年間を通し多種多様な農産物の安定生産を促進します。また、スマート農業による生産の効率化を推進します。

2. 生産者の所得向上・コスト削減

(1) 持続的農業経営の推進

減農薬や有機農業への転換や農薬散布の適正化、土壌データ分析による施肥などにより持続的な農業を推進します。同時に農産物の高付加価値化を促進、生産者の所得向上を図ることによって経営的にも持続可能な農業を確立します。

（２）耕畜連携の取組

町内の耕種農家と畜産農家との連携を図り、有機堆肥を有効活用し地域内資源循環を推進することにより、環境への配慮と農業経営のコスト削減を促進します。

（３）６次産業の推進とブランド化

道の駅ましこの加工所を中心に、地元農産物を使用した商品開発を推進します。
また、多様な販売ルートの開発や需要と供給のマッチングシステム、益子町の地域特性を生かした農産物の開発・生産を推進、同時に焼き物の町益子の知名度を生かした農産品及び加工品のブランド化を推進します。

（４）情報発信

益子町の農業、農産物、農産加工品、観光など、農業活性化に資するための情報発信を拡充します。

3. 農業における地域内経済循環

（１）地域内経済循環の推進

農産物の地産地消により地域内経済が活性化するよう、地元農産物の町内購買率を高める仕組みづくりを推進します。また、大規模農家だけでなく小規模農業者も活躍できる販売体制の確立に支援していきます。

（２）消費者対応

消費者ニーズを把握し、消費者が安心して購入できる商品やサービスを提供できる仕組みづくりを進めます。

（３）福祉分野への貢献

余剰農産物の有効活用などによる農業の福祉分野への貢献を推進するための仕組みづくりを進めます。

（４）農福連携

人手不足への対応が課題となっている農業分野において、より多くの方が活躍できるような環境整備を促進していきます。

4. 農業関係人口の創出・拡大

(1) アグリツーリズムの推進

「ましこアグリツーリズム推進協議会」を設置し、継続的な農業体験や人との触れ合いを通し、農家所得の向上や地域活性化を目的としたアグリツーリズムを推進します。

(2) 里山農業の魅力発信

里山らしい生活の提示と里山景観の保全・形成を積極的に進め、里山農業の魅力を高めるとともに情報発信を行います。

(3) 移住の促進

農ある暮らしを中心に、農業体験や里山保全活動、自然、文化など地域資源を活用した移住施策を推進します。

資料編

益子町農業戦略策定経過

開催日	内 容
令和4年12月23日	第1回益子町農業戦略会議 ・ 農業戦略会議の趣旨について ・ 益子町の農業の現状と課題について ・ 今後のスケジュールについて
令和5年 3月17日	第2回益子町農業戦略会議 ・ 担い手の確保育成について
令和5年 7月31日	第3回益子町農業戦略会議 ・ 第1～2回会議における意見について ・ 益子町農業統計データについて ・ 農業戦略に活かせる益子町の魅力について
令和5年12月14日	第4回益子町農業戦略会議 ・ 益子町における農業の今後について ・ 西山委員からの提案について
令和6年 3月18日	第5回益子町農業戦略会議 ・ 益子町農業戦略（案）について

益子町農業戦略

令和7年3月

編集・発行 益子町産業建設部農政課